



FUJISHO
BLACK LABEL

Weekly 原油情勢

改定幅予想(10/8~10/14)

-0.5 ~ +0.5

10月1週(9/29~10/5)トピックス

原油相場は膠着状態。米イラン対立の長期化懸念が相場を下支え。
SPR放出やサウジ東西パイプラインの回復期待が上値を抑え、相場は底堅いながらも上値の重い展開が続いている。

過去トピックス

9月1週▲

原油相場は堅調な動き。米国とイランの攻撃の応酬が続き、戦争終結に向けた交渉に前向きな機運が見られないため。小売市場実質仕切は小幅変動予測。

9月2週▲

原油は続伸。ホルムズ海峡を巡る問題、サウジアラビア産原油の供給減少懸念、イランのヨルダン米軍基地への攻撃による両国間の関係悪化など複数の拠点で同時多発的に発生している問題が、原油高騰を促している。

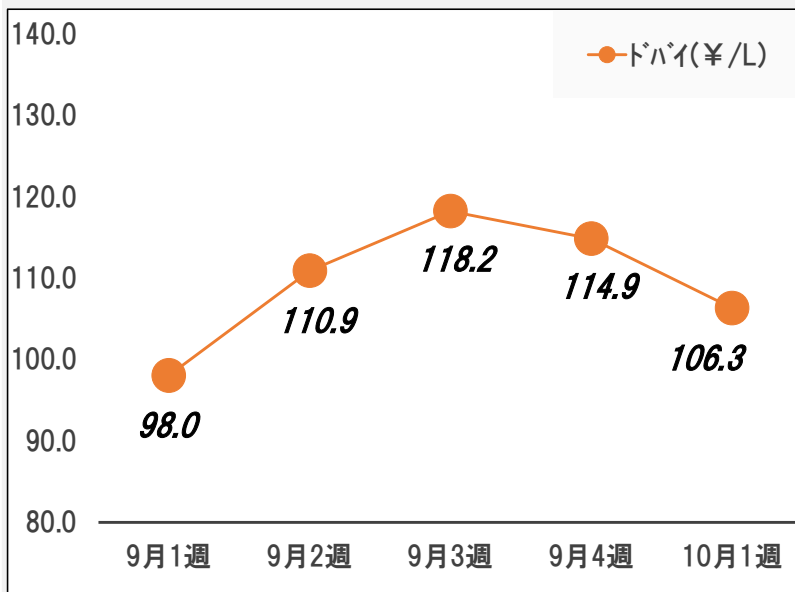
9月3週▲

原油は続伸。親イラン勢力によるサウジアラビアの主要な空軍基地攻撃を受け、稼働を停止したサウジアラビア産原油の東西パイプラインは、再開の見通しが立たず中東情勢は悪化。

9月4週▼

原油は反落。米中首脳会談が行われたことを受け中東情勢の安定化への期待感が高まったため。しかしながら依然として中東での武力衝突が続いていることから、短期的な期待感が後退し反発に転じる可能性も。

価格推移表



週	期間	ドバイ (\$/バレル)	為替 (TTS)	ドバイ (¥/L)	増減幅
9月1週	9/1~ 9/7	98.0	159.1	98.0	2.7
9月2週	9/8~ 9/14	113.8	154.9	110.9	12.9
9月3週	9/15~ 9/21	120.0	156.7	118.2	7.3
9月4週	9/22~ 9/28	114.6	159.4	114.9	-3.4
10月1週	9/29~ 10/5	106.5	158.7	106.3	-8.6

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス

